

緑のカーテン取り組み情報



お名前	山梨県総合教育センター（笛吹市）		
育てた植物の種類	ゴーヤ、琉球朝顔(2種)、フウセンカズラ		
設置場所	建物南側		
カーテンの大きさ	高さ: 約 8 m, 幅: 約 20 m	取り組み年数	5年目

緑のカーテンの効果

直射日光が遮られることにより室温の上昇が抑えられて、冷房運転の省力化につながっています。部屋の中から見ると窓一面が緑のカーテンになっていて、葉から透ける太陽の光がとてもきれいと評判です。また、外側の花も毎朝きれいに咲いて、職員の気持ちをなごませています。

育てる際の工夫・苦労

主な品種は宿根朝顔(ケープタウンブルー)を育てていて、10月下旬まで開花し、背丈は10mまで成長します。他の品種としては、琉球朝顔の仲間と従来種の自然発生した朝顔です。ゴーヤは、接ぎ木ものの成長が早いです。

土づくりは、整地用の砂質土に敷地内の落葉と土改良材・元肥を混ぜて3月から準備します。5月に苗つけ、6月にネット設置、以降は液肥を1週間間隔で施肥します。

地下水を利用した散水など、エコであることも念頭において水やりを行いました。また、今年はホースを利用した簡易な、かんがい設備を設置したことで、散水の手間を省くことができました。

感想・楽しみ方など

今年は初めて、建物3階の窓までカーテンが到達し始めています。2階の窓全体は、ほぼ緑のカーテンで覆うことができたので、昨年度より効果的な結果を得ることができました。